

## 会社のあゆみ

- |  |   |
|--|---|
| 1930年 8月 太平洋工業合名会社を創立し、自動車用バルブコアの製造を開始                     | 1990年 11月 樹脂の専門工場として東大垣工場を新設                      |
| 1936年 8月 バルブコアの実用新案権を取得                                    | 1999年 7月 Pacific Manufacturing Ohio, Inc.を設立(米国)  |
| 1938年 4月 太平洋工業株式会社に改組し、航空機および自動車用タイヤバルブ、バルブコア、その他の製品の製造を開始 | 2000年 12月 TPMS送信機の生産開始                            |
| 1946年 8月 トヨタ自動車工業株式会社の協力工場として、自動車用プレス部品の製造を開始              | 2002年 11月 グローバル生産累計バルブコア100億本、タイヤバルブ50億本達成        |
| 1954年 7月 バルブコアで日本工業規格表示許可工場に認定される                          | 2004年 9月 太平洋エアコントロール工業株式会社を設立(韓国)                 |
| 1960年 11月 西大垣工場を新設し、プレス事業を拡充                               | 2005年 4月 天津太平洋汽車部件有限公司を設立(中国)                     |
| 1970年 8月 株式を東京・名古屋証券取引所第一部に上場                              | 2006年 12月 九州工場を新設                                 |
| 1972年 11月 北大垣工場を新設し、タイヤバルブ事業を拡充                            | 2010年 5月 栗原工場を新設                                  |
| 1977年 9月 タイヤバルブ、バルブコアの専門工場として美濃工場を新設                       | 2011年 11月 長沙太平洋半谷汽車部件有限公司を設立(中国)                  |
| 1982年 9月 プレス用金型の専門工場として養老工場を新設                             | 2012年 5月 Pacific Industries Europe NV/SAを設立(ベルギー) |
| 1984年 6月 太平洋汽門工業股份有限公司を設立(台湾)                              | 2013年 11月 若柳工場を新設                                 |
| 1987年 5月 太平洋バルブ工業株式会社を設立(韓国)                               | 2014年 1月 TPMS送信機生産累計1億個達成                         |
| 1988年 7月 Pacific Industries USA Inc.を設立(米国)                | 7月 Pacific Manufacturing Tennessee, Inc.を設立(米国)   |
| 1989年 3月 Pacific Industries(Thailand) Co., Ltd.を設立(タイ)     | 7月 太平洋汽車部件科技(常熟)有限公司を設立(中国)                       |
|  | 2018年 8月 Schraderバルブ事業を経営統合                       |
|  | 2022年 4月 東京証券取引所プライム市場、名古屋証券取引所プレミアム市場へ移行         |

# Company Profile

**PACIFIC** 太平洋工業株式会社

## 太平洋工業グループのサステナビリティ(SDGs)の取り組み

長期ビジョンと関連する4つの柱となるテーマと、15のマテリアリティ(重要課題)、注力するSDGsのゴールを掲げ、太平洋工業グループ全体で、持続可能な社会の実現をめざしています。

### 4つの柱となるテーマ

1. ステークホルダーとの信頼醸成
2. 製品を通じた社会・顧客課題の解決
3. 環境負荷の極小化
4. 人財の尊重と活躍

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## PACIFIC環境チャレンジ2050

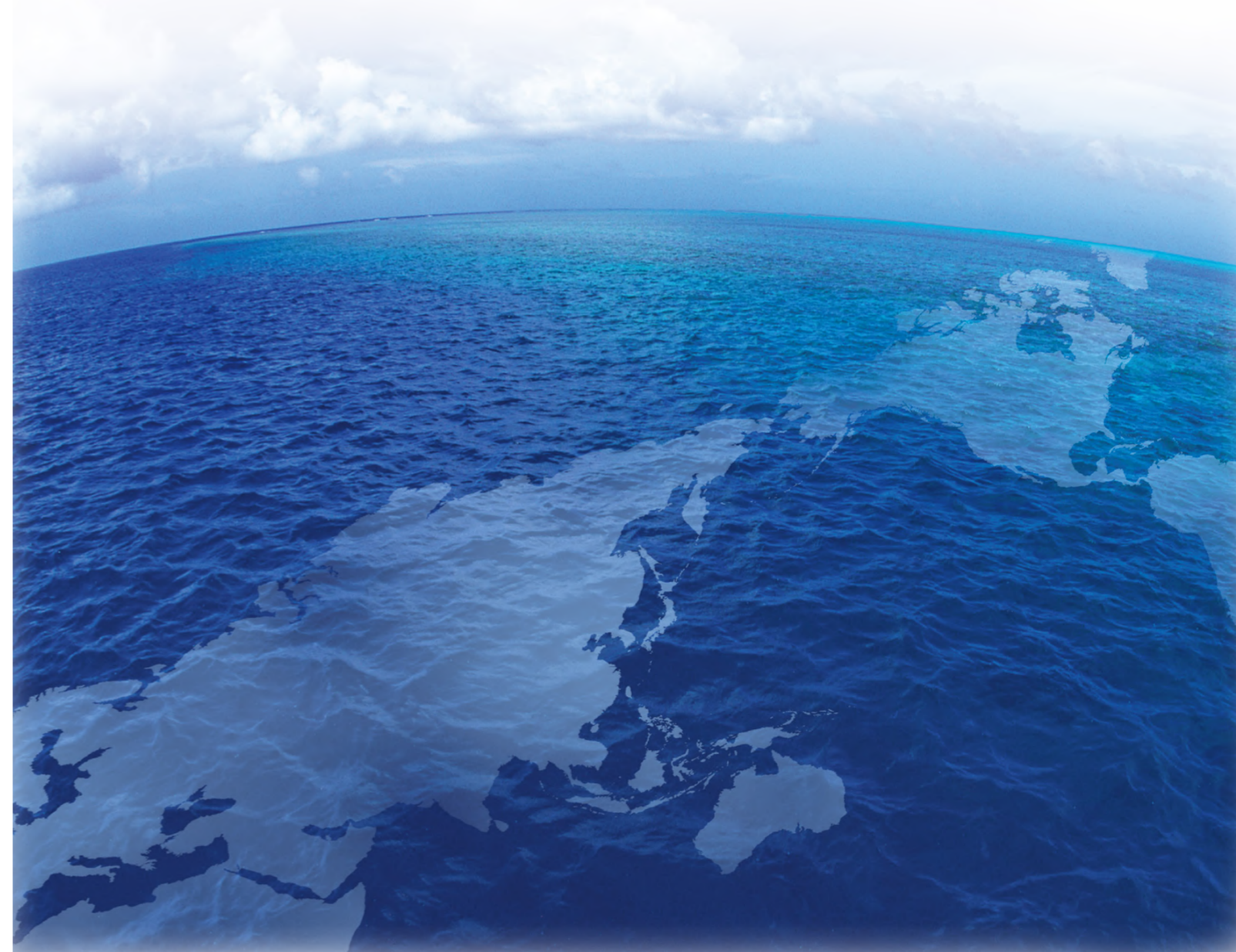
気候変動の緩和および適応	持続可能な資源の利用	水資源の保全
CO <sub>2</sub> 排出量 ※2019年度比、スコープ1+2	廃棄物排出量 ※2019年度比	水使用量
2030年目標 <b>50%削減</b>	2030年目標 <b>国内 60%削減 海外 30%削減</b>	2030年目標 <b>適正利用</b>
2050年目標 <b>ネットゼロ</b>	2050年目標 <b>極小化</b>	2050年目標 <b>地域事情に応じた利用 極小化</b>

## トピックス

<p><b>環境</b> 国内3拠点(東北・九州)で再エネ電力100%を達成</p>	<p><b>新製品</b> コア技術を活用した製品開発</p> <p><b>「e-WAVES」</b> 6つのセンサーで医薬品・食料品の輸送状態を監視、物流ソリューションで新たな価値を提供</p> <p><b>「カプセルセンス」</b> 胃に滞留させたセンサーで牛の体調変化を検知、畜産業界の課題を解決</p>	<p><b>社会</b> 子ども食堂・学習・子どもの居場所づくりを支援</p>
--	---	---

思いをこめて、あしたをつくる

Passion in Creating Tomorrow



# ごあいさつ



代表取締役社長 小川 信也

当社は、1930年にバルブコアの国産化をめざして創業以来、タイヤバルブ製品をはじめ、自動車用プレス・樹脂製品、電子・制御機器製品、TPMS（タイヤ空気圧監視システム）等を開発・生産し、成長を遂げてまいりました。

今、自動車産業は、100年に一度といわれる大変革期にあり、「CASE」や「軽量化」が企業間競争のカギとなっています。同時に「SDGs」のような社会課題を見据えたサステナビリティ経営が求められています。当社グループでは持続可能なモビリティ社会を実現するため、人財を育成し、コア技術を活かして安全・環境・快適性向上の技術開発をさらに進めることで、社会から信頼され、期待される企業であり続けたいと考えています。

今後とも、皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 長期ビジョン 「PACIFIC GLOCAL VISION」

### VISION 1

ステークホルダーに信頼され、地域社会に根ざし、共存・発展できる真のGLOCAL企業

### VISION 2

持続可能な社会に向けて、コア技術を活かし、新事業・新製品・新技術を提供し続ける企業

### VISION 3

社員の新しい発想や挑戦を大切にし、仕事と生活の調和が実感できる企業

## 会社概要

- 社名**  
太平洋工業株式会社  
Pacific Industrial Co., Ltd.
- 本社所在地**  
岐阜県大垣市久徳町100番地  
TEL 0584-91-1111 (大代表)
- 創業**  
1930年(昭和5年)8月8日
- 代表者**  
代表取締役社長 小川 信也
- 資本金**  
73億1,600万円  
(’22年3月末現在)
- 株式上市**  
東京証券取引所プライム市場  
名古屋証券取引所プレミアム市場  
証券コード 7250
- 売上高**  
1,644億円(’21年度連結) 815億円(’21年度単独)
- 事業内容**  
自動車部品、電子機器製品等の製造ならびに販売
- 社員数**  
連結:4,800名、単独:1,980名  
(’22年3月末現在)

## 主要製品

### プレス製品

車体の強度・剛性を確保するための車体部品をはじめとした各種プレス製品を製造しています。軽量化と高剛性を両立させる超ハイテン材の成形技術に力を入れています。



### 樹脂製品

フィルム加飾技術や防音防振性能技術を強みとした、多彩な樹脂製品を製造しています。



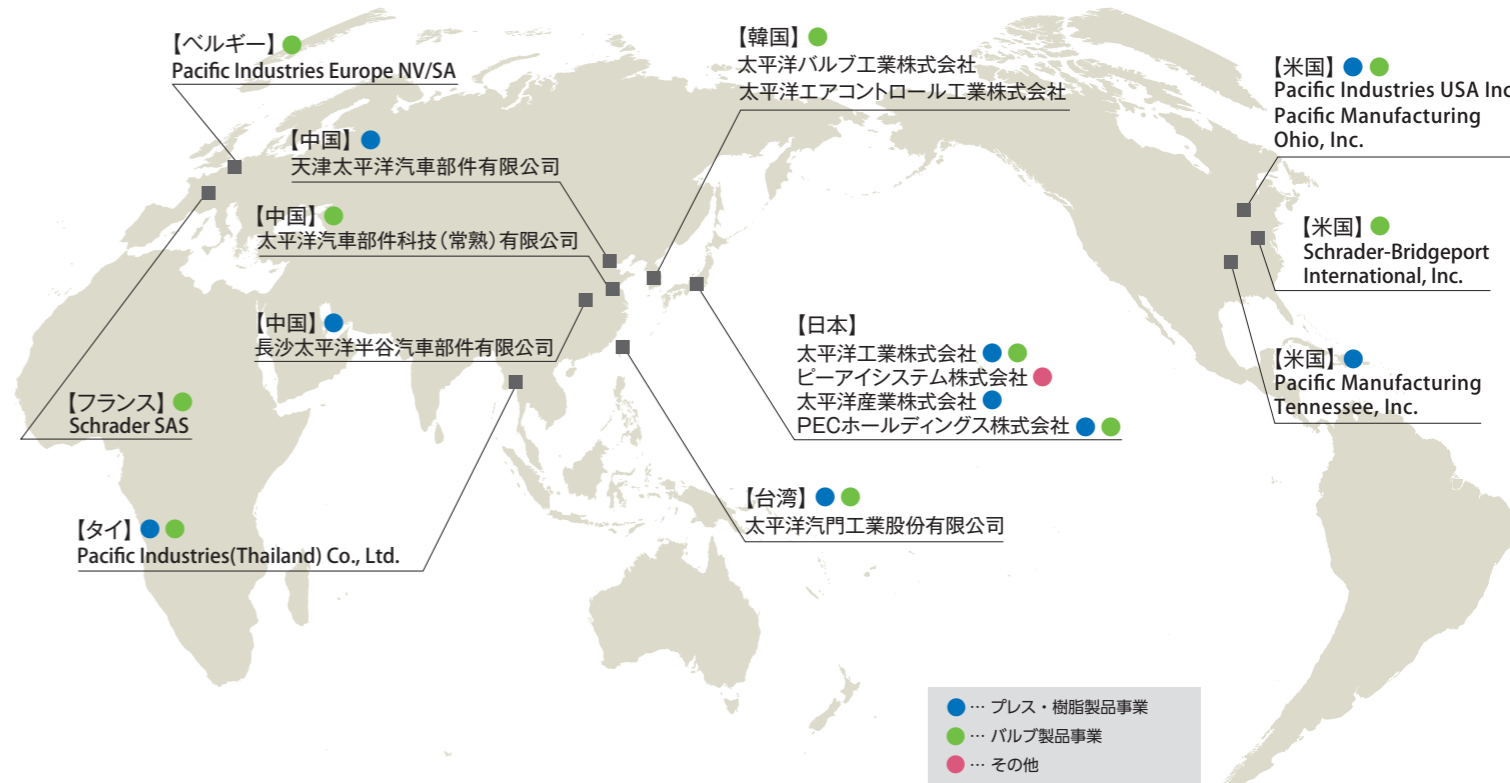
### バルブ・TPMS製品

複数の世界トップシェア製品をもつバルブ製品、安全な走行を守り環境に優しいTPMS製品、カーエアコン用コンプレッサー向けのアルミダイカスト製品を製造しています。また、航空機、産業機械、エネルギー産業向けバルブも製造しています。



## World Wide Network

太平洋工業グループは、海外7ヵ国13社、日本国内4社でグローバル展開しています。



## 国内拠点

中部・九州・東北の3地区で、8工場を展開しています。



本社・西大垣工場

### 中部地区

- 本社・西大垣工場 (岐阜県大垣市久徳町)
- 北大垣工場 (岐阜県安八郡神戸町)
- 東大垣工場 (岐阜県大垣市)
- 養老工場 (岐阜県養老郡養老町)
- 美濃工場 (岐阜県美濃市)

### 東北地区

- 栗原工場 (宮城県栗原市)
- 若柳工場 (宮城県栗原市)

### 九州地区

- 九州工場 (福岡県鞍手郡小竹町)